

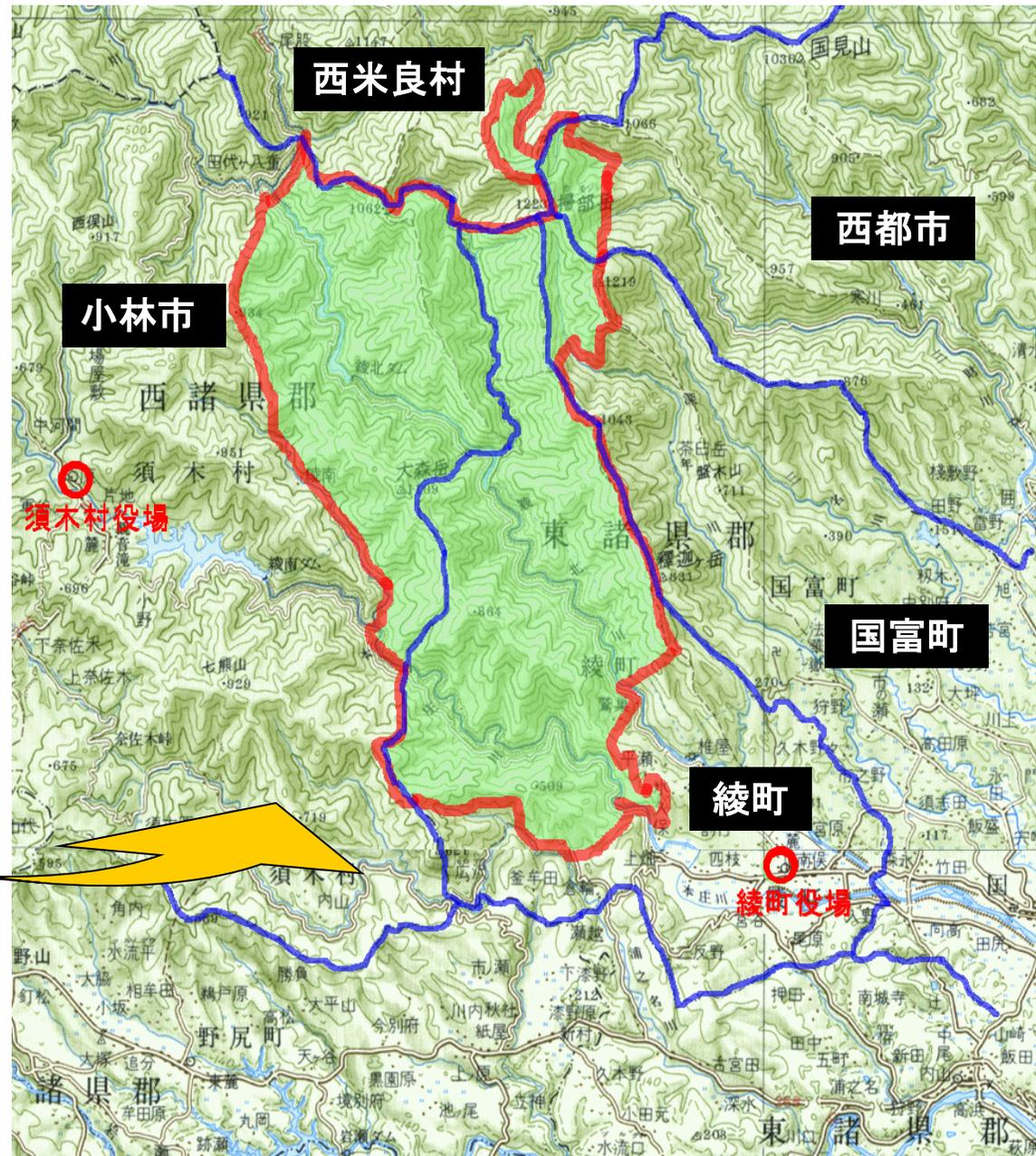
綾町の自然保護の事例 ～綾の照葉樹林プロジェクト～

綾川流域照葉樹林帯保護復元計画

資料3-1

綾町役場 ユネスコエコパーク推進室
河野円樹

綾の照葉樹林プロジェクトの位置



官民協働の森づくり

2005~

目的① 照葉樹林の保護・復元

日本最大規模の原生的な照葉樹林を保護しつつ、照葉樹林を分断する人工林や二次林を長期的に照葉樹林に復元

目的② 地域づくりの支援

照葉樹林をよりよい形で後世に継承すると共に、照葉樹林を核とした自然と共生する地域づくりを支援する

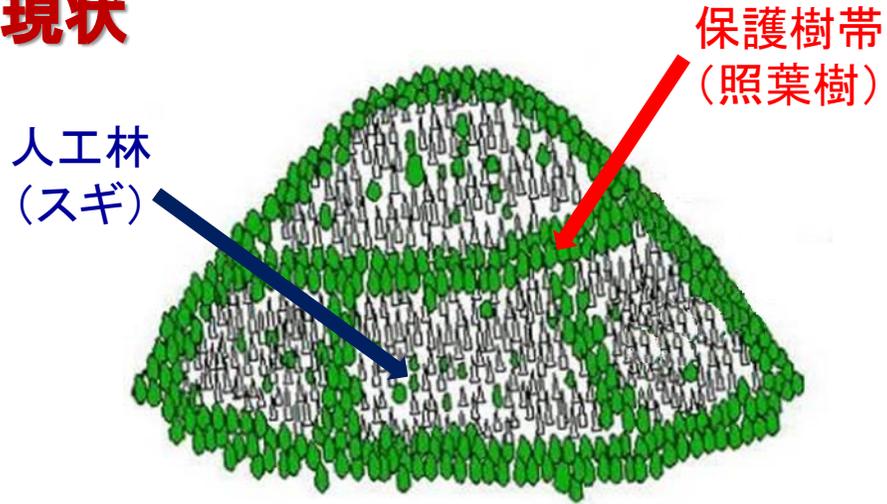
平成17年5月 プロジェクト発足

- ・ 5者による協定を締結
- ・ 9,500ha(国・県・町有林)が対象エリア

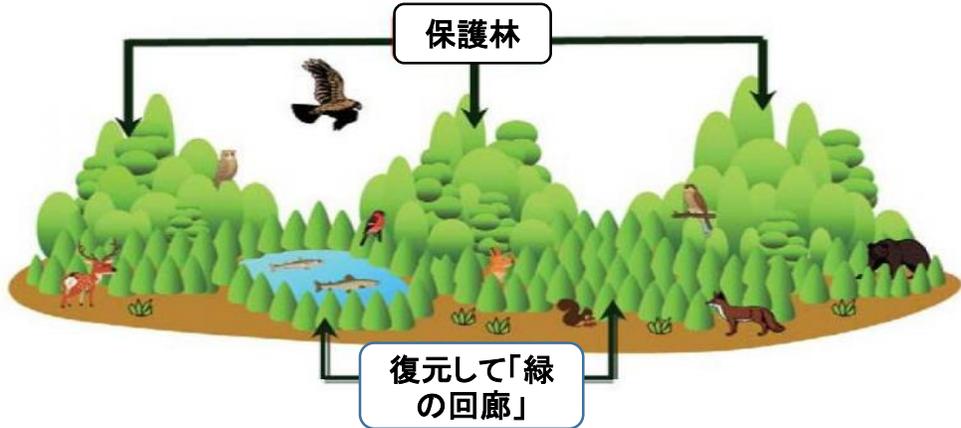


綾プロの基本方針

現状



目標



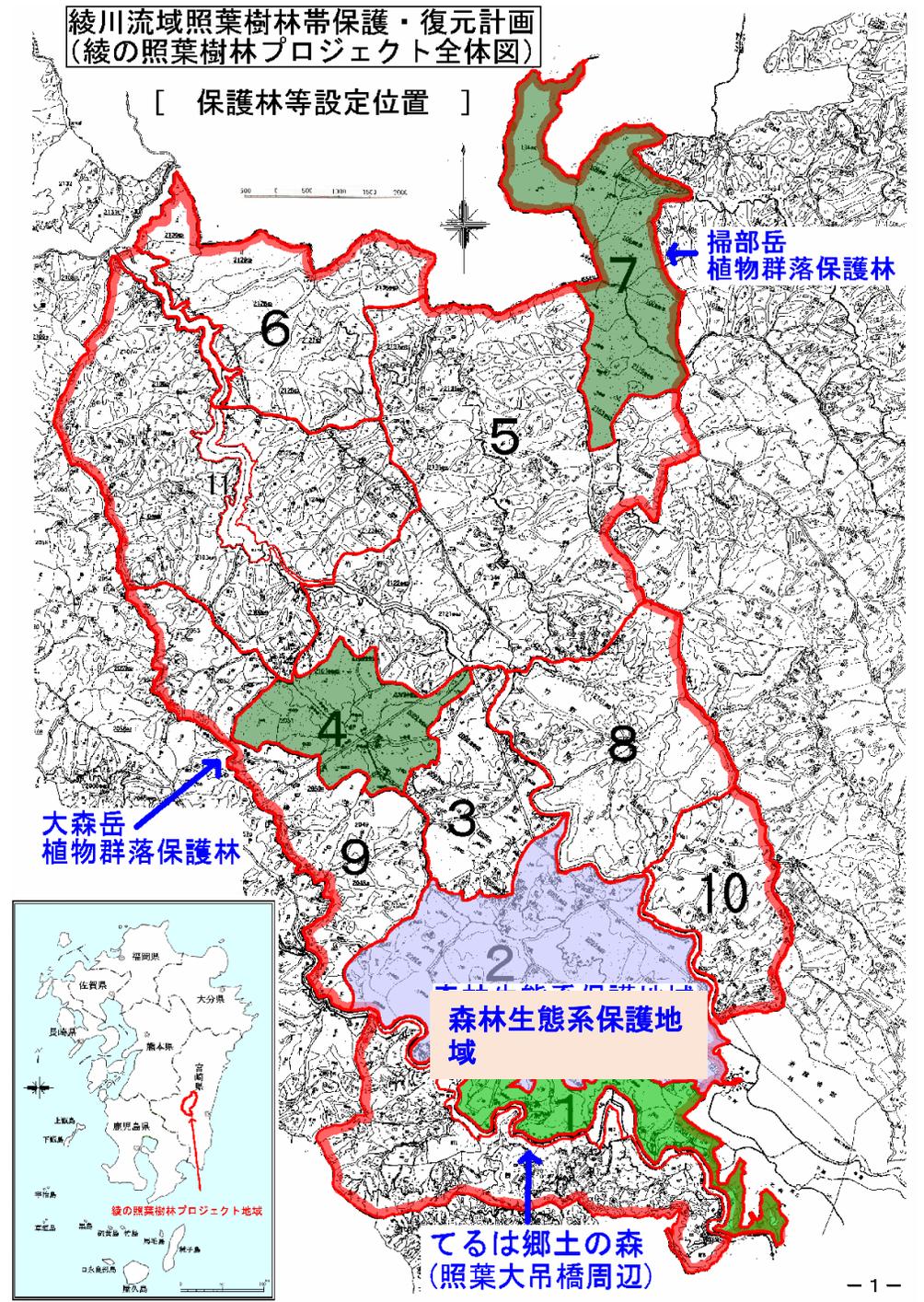
綾プロの復元手法



プロジェクトの活動

② 緑の回廊の新設

野生動植物の移動経路の確保を図り生息・生育地の拡大と相互交流を促すため、延長約5km、面積約2,200haのエリアについては、「**緑の回廊**」に指定。



プロジェクトの活動

③ ゾーニング

保護林として保護 :

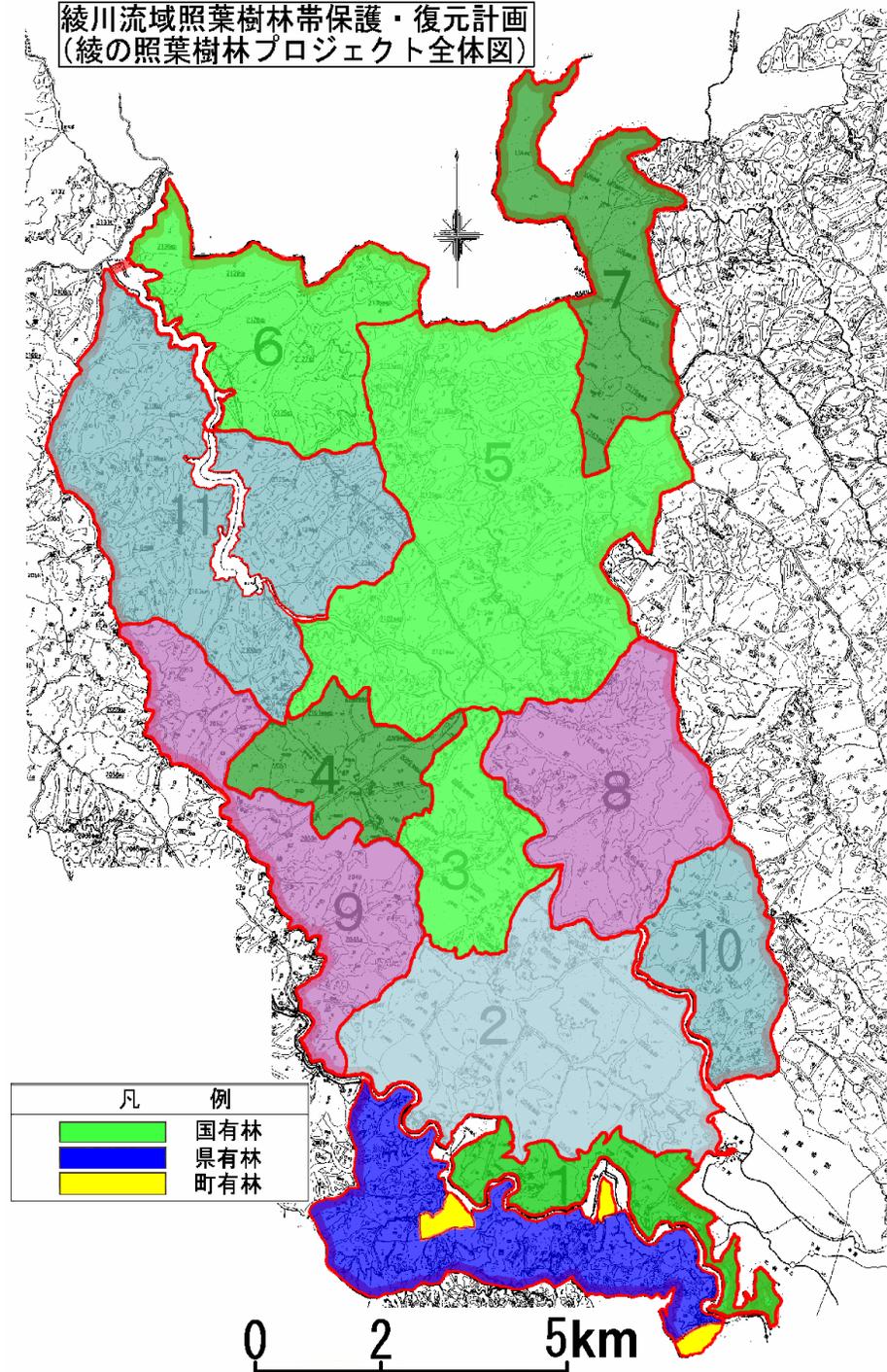
1、2、4、7

照葉樹林へ復元 : 3、5、6

環境教育等へ利用 : 8、9

持続的林业経営 : 10、11

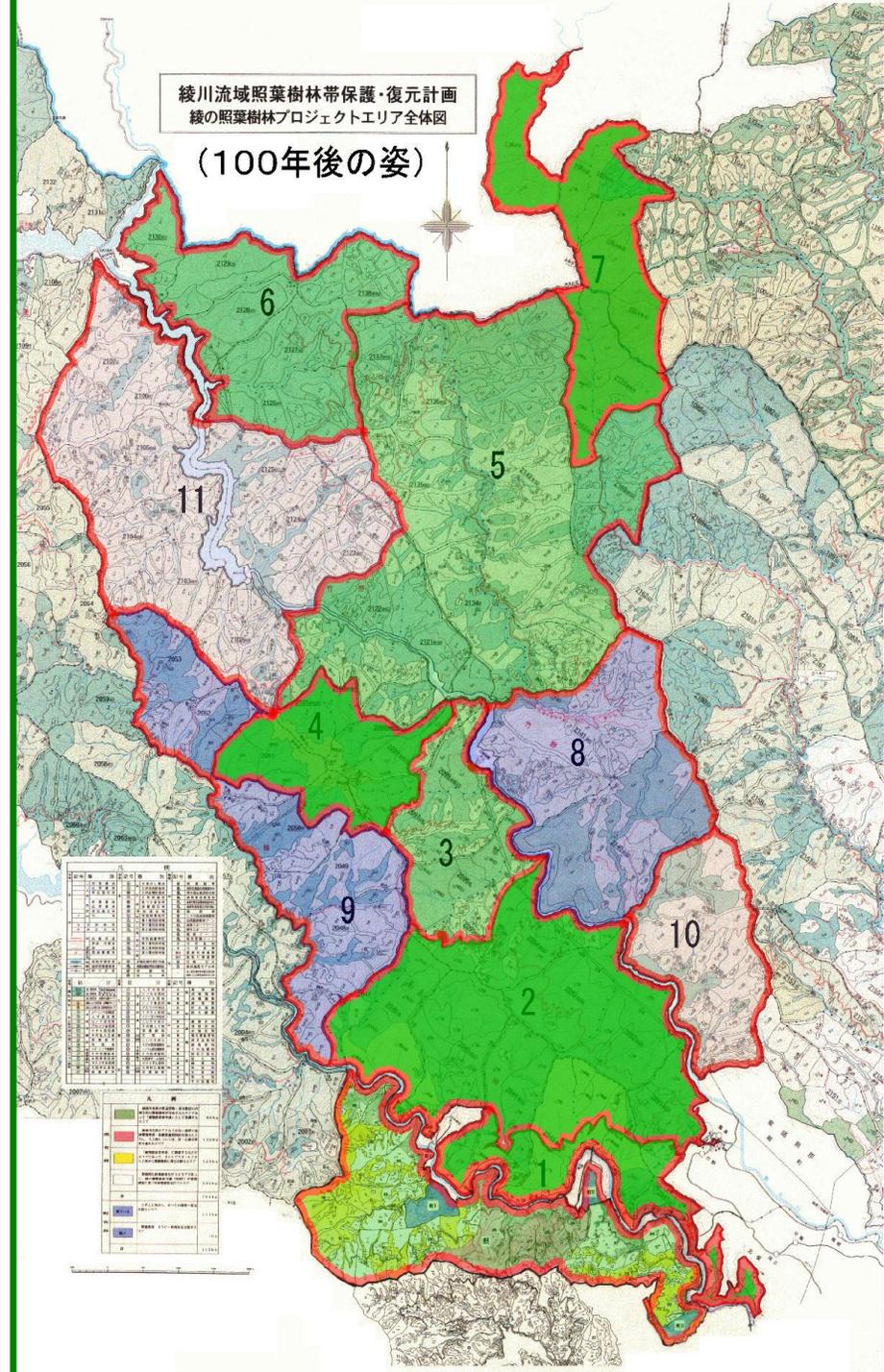
綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画
(綾の照葉樹林プロジェクト全体図)



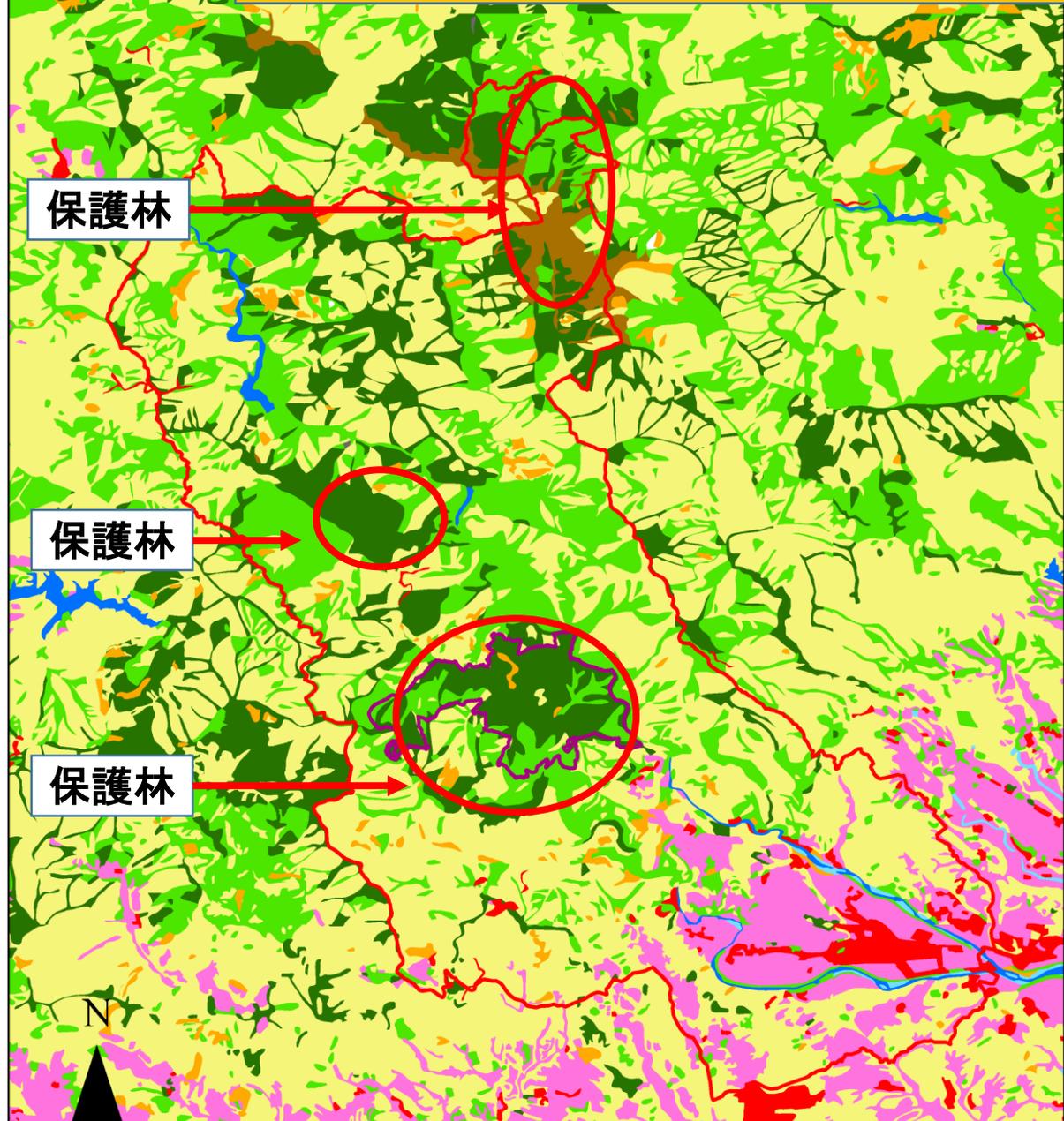
50～100年後の姿 (イメージ)

若く細い帯状の復元された照葉樹林が出現し、保護林と保護林が連結

6,000ha以上の広大な連続した照葉樹林が回廊状に出現



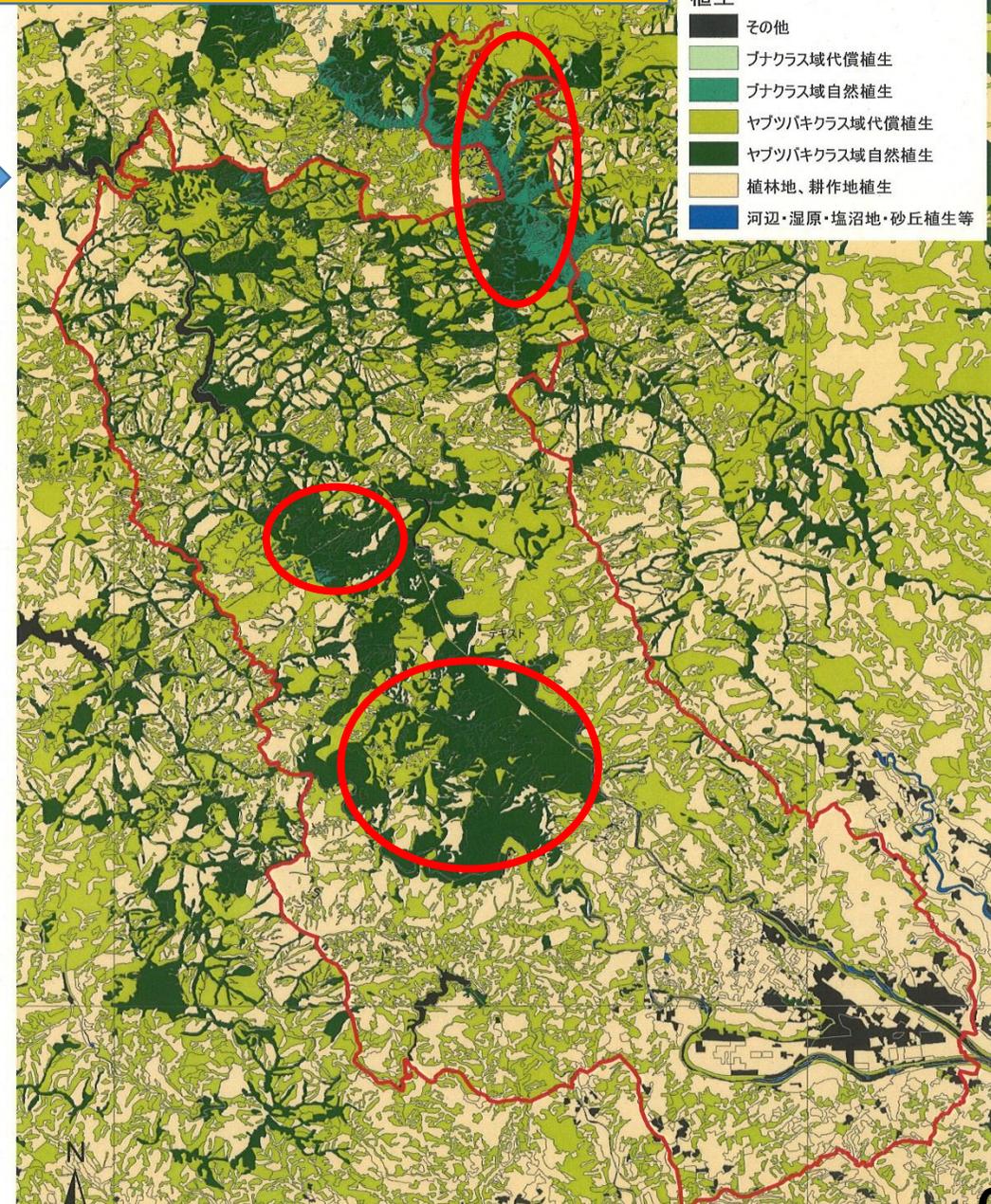
綾BRの現存植生30年間の推移(今後益々自然植生が復元!?)



1982年頃



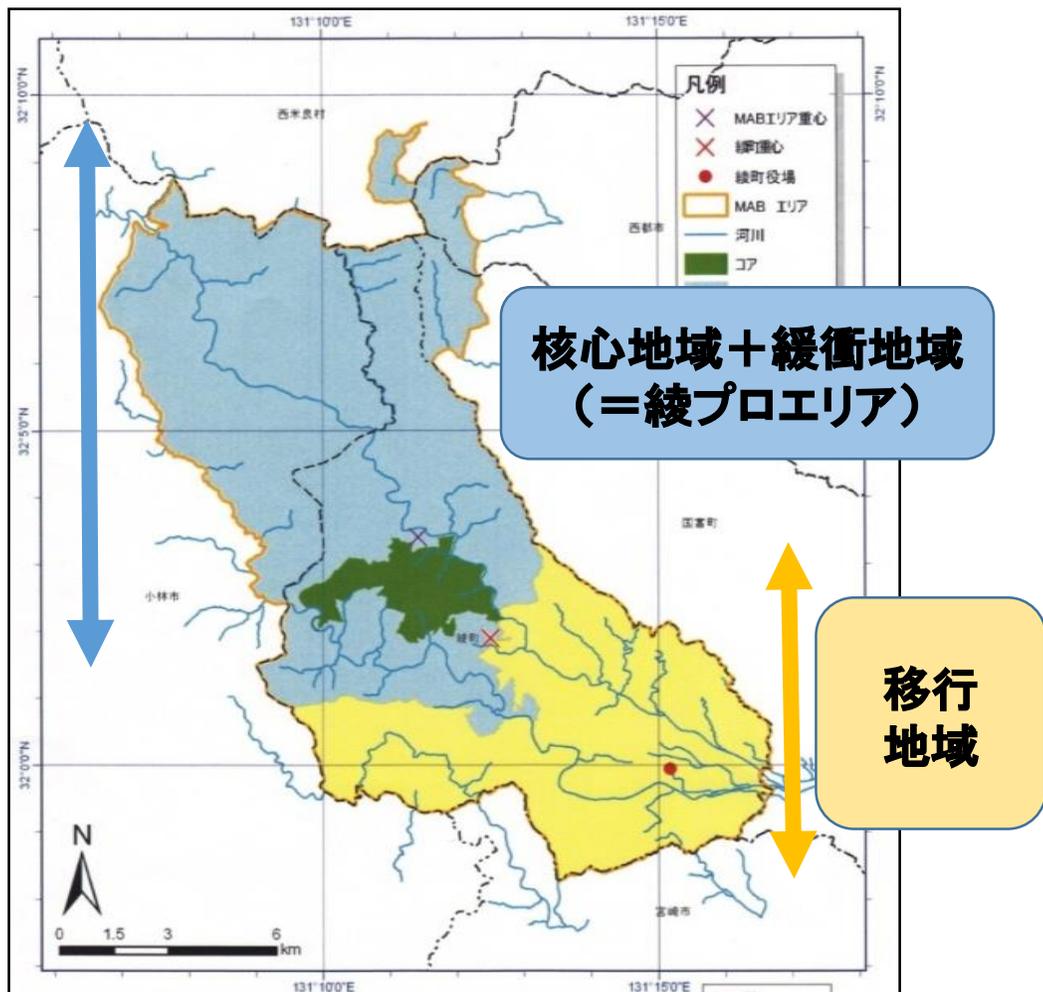
自然林は30年間ではむしろ微増



2011年頃

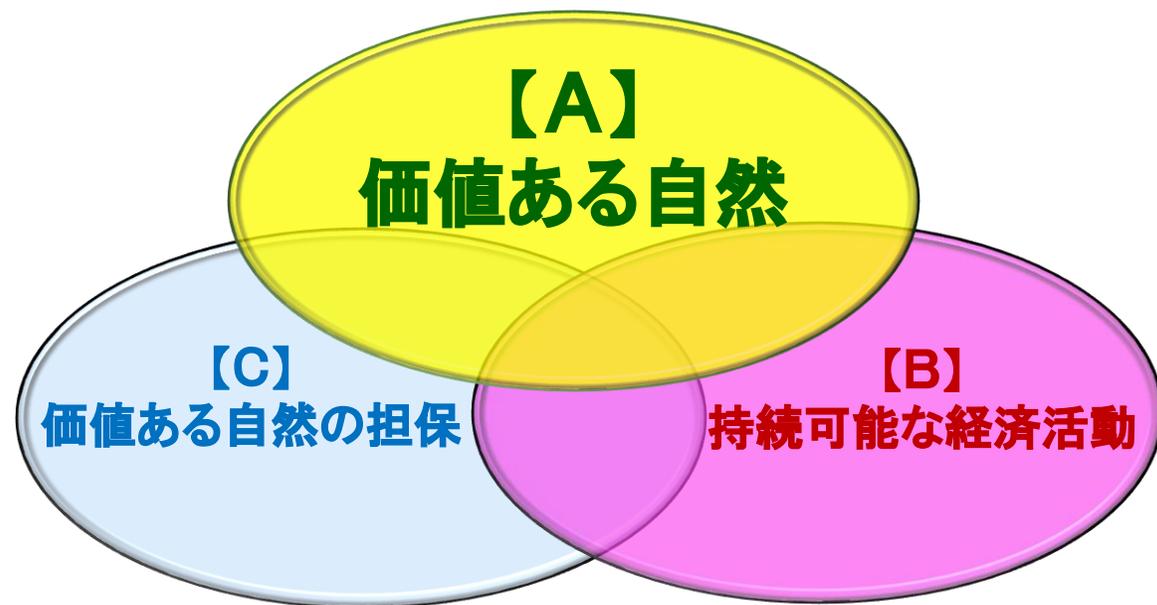
植生	
■	その他
■	ブナクラス域代償植生
■	ブナクラス域自然植生
■	ヤブツバキクラス域代償植生
■	ヤブツバキクラス域自然植生
■	植林地、耕作地植生
■	河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生等

綾ユネスコエコパークと綾プロの関係



綾プロエリアは、ユネスコエコパークの
核心地域と緩衝地域を合わせたエリアに一致

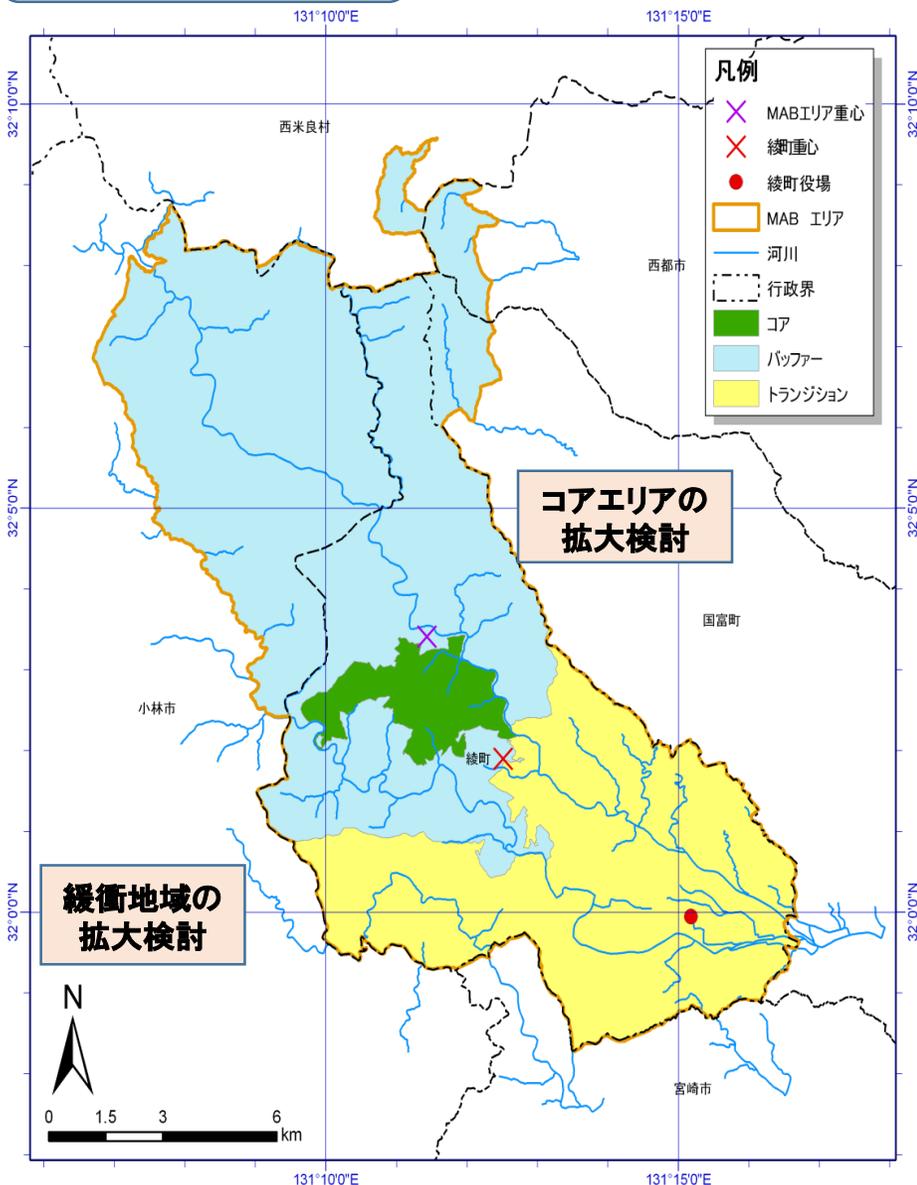
ユネスコエコパーク登録 申請の三つの条件



綾プロの取り組みがあったことで、
全ての条件を満たすことができた

2012年にユネスコエコパークに登録

その後の展開



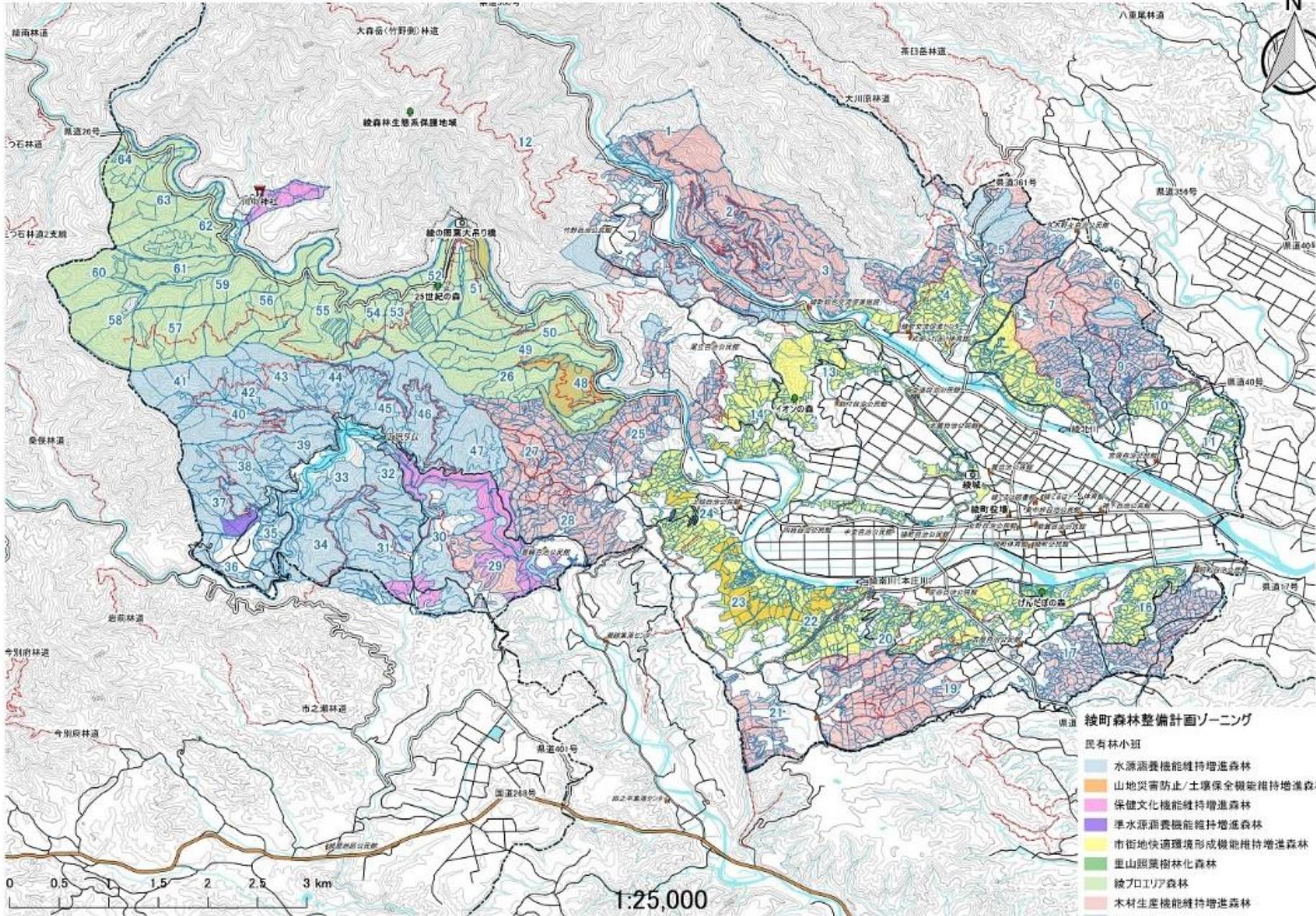
綾町生物多様性地域戦略

2015年



綾町森林整備計画

2015~2017年



綾町森林林業検討会

- ・宮崎森林管理署
- ・宮崎県中部農林振興局
- ・宮崎中央森林組合
- ・綾町 農林振興課
ユネスコエコパーク推進室



2017年度中に 12
改訂予定

(注)半図面は、森林等の位置関係を表したものであり、土地の所有関係を明6かにするものではない。

持続可能な町づくりとして展開

森林ガイド

緑の回廊の創造

地域森林整備推進協定

ふれあい調査

ボランティア活動

移行地域の生物多
様性の維持・改善

森林生態系の
保護・復元

環境学習・生涯学習

綾BRセンター設立準備

国内外の各種研修視
察や教育関係の受入

森林整備計画

森林セラピー

大学・研究機関
との連携

各種研究調査

森林ビジョン

シンポジウム等

綾BR(ユネスコエコパーク)
生物多様性地域戦略

各種森林関係調査

地域づくりワーキング

保全管理計画等
の策定

ESD(持続可能な開
発の為の教育)
幼保小中連携事業
(ユネスコスクール)

生物多様性保全林
プロジェクト(命あ
ふれる山づくりマ
ニュアル)

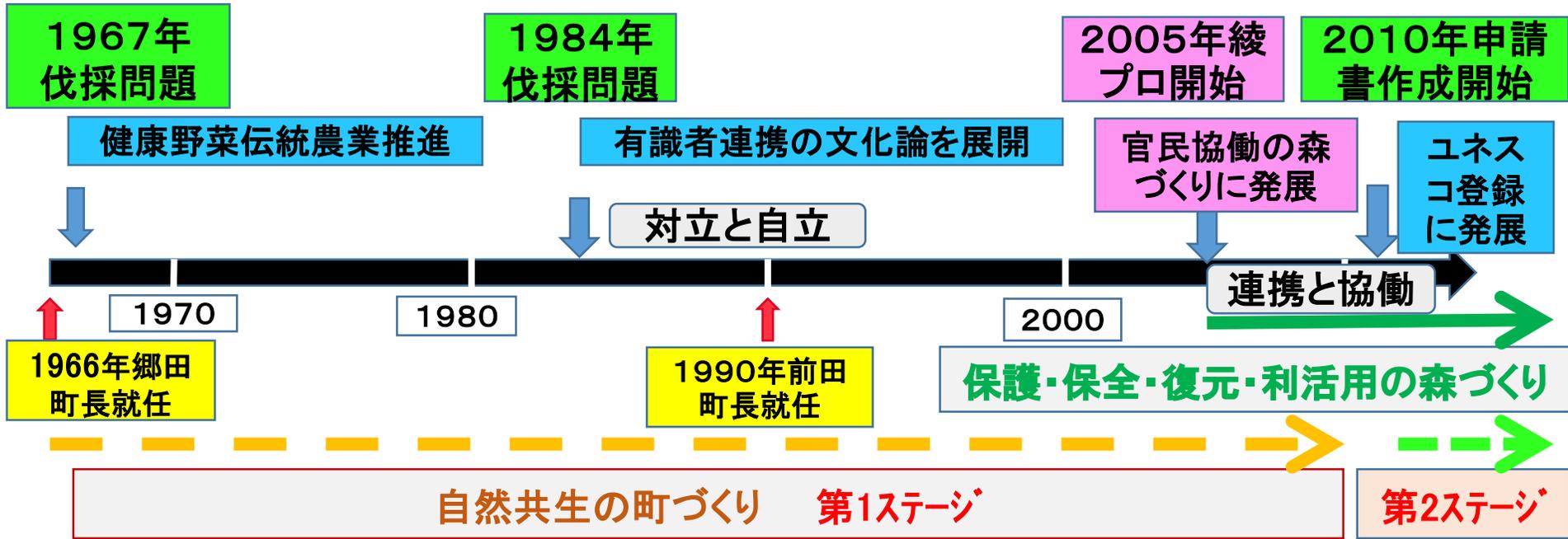
綾プロ発足

綾プロの相乗効果

自然と共に生き、人と共に生
きるまち、綾

広がる活動 13

綾町の森林保護を柱とした半世紀のあゆみ



貧しい地方の自治体

国内外から関心集まる



1984年



半世紀にわたる綾町の地域づくり

